

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2021年9月号

大分市議会第3回定例会

9月1日、大分市議会が開会、ふくま健治議員は、9月7日に一般質問をおこないました。質問要旨を紹介します。

風力発電計画は住民の納得と合意を



(仮称)大分・臼杵ウインドファーム事業は、関係住民への情報開示や説明不十分との批判と怒りの声が随所で聞かれる。一尺屋地区では、建設計画段階から事業主と地区連合区長

会で協定が図られてきた。住民をないがしろにした建設推進に、一尺屋地区住民の7割の世帯が反対していると聞いている。大志木地区のある自治会総会では、風力発電計画の議案については、質問もさせない横暴な姿勢で議案を採択している。事業者が見せかけの住民合意で事業を強引にすすめることは納得できない。事業計画は、いったん白紙に戻し、住民の納得と合意形成をおこなうことを事業者に強く要請すること。

環境部長—本事業においては、地域住民の十分な理解の促進と不安解消を図りながら事業を推進するところが重要である。引き続き事業者に対し、より丁寧な説明の実施を強く要請していく。

環境影響評価書は現在作成中



福間議員—風力発電事業の着手には、環境影響評価書の審査などを経て、経済産業省の許認可が必要。環境影響評価書作成の進捗状況は

環境部長—「経済産業大臣勧告を踏まえ現在作成中。風力発電施設の強度設計に必要な地質等を調査している。」

林地開発申請はまだ提出されていない

福間議員—計画区域は森林面積が1割を超えるため、災害防止、水害防止、水の確保、環境の保全などの審査をうけ、大分県から林地開発申請の許可を受けなければならない。この手続の進捗状況は。

農林水産部長—「許可申請に向けた事前協議は10回程度おこなっているが、現時点では林地開発申請書は提出されていない」

借地契約の基本姿勢は

福間議員—計画区域には市有林があります。借地契約にあたっての基本姿勢は。

農林水産部長—「市有林の賃貸契約の締結にあたっては、地元自治会等の同意を条件に、事業者と協議することとしている」

新型コロナウイルス感染症対策



(1) 農業者への支援として、ただちに過剰分数十万トン政府責任で買い上げて、隔離し、生産者米価の暴落を阻止することを政府に要求すること。

過剰米を政府が買い取り、生活困窮者、学生、子ども食堂などへ大規模に供給する(仮称)食料支援制度の創設を提案しました。

(2) 生活困窮者への支援として、①生活保護制度の運用改善を。②孤独死対策についても取り上げました。

(3) 放課後等デイサービス事業での虐待事案について障害虐待防止センター機能・役割の強化を求めました。

川添橋のガードパイプ取り換えへ



さびついていたガードパイプの塗り替え・取り換えについて、大分県道路保全課より「今年から100メートル取り換える」と連絡がありました。

いよいよ総選挙、日本共産党の躍進を



大分市後援会の役員会で決意と政策を熱く語る山下かい氏(党県書記長・衆議選大分1区予定候補)

暮らしや地域の要望をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

